壱岐南校区自治協議会だより

みなみかぜ

第124号

＊発行者：
壱岐南校区自治協議会
＊発行責任者：
本　庄　敏　雄
〒819-0032
福岡市西区戸切2-18-20
(壱岐南公民館内) ☎811-0336
http://blog.zaq.ne.jp/ikiminami/

数字で見る壱岐南
ミニバスを利用しましょう

一日乗車人員目標＝100人以上
☆2月1日～29日の利用者数
合計利用者数＝2,069人
平均利用者数＝71.3人

楽しかった！～ニュースポーツ大会～

体育振興会は、2月14日壱岐南小学校体育館で「校区親善ニュースポーツ大会」を実施しました。大会には13自治会のほか公民館・青少年育成会・体育振興会・自治協議会の4チームがオープン参加して、ペタンクとカローリングを行いました。

ニュースポーツは、年齢や技術にあまり関係なく誰でも気軽にできます。そのせいか、高齢者や小学生もたくさん参加し、競技を楽しみました。

競技終了後、エキシビションとして「バスタボー」と「ドッヂビー」が披露されました。

「バスタボー」はバスタオル＋バレーボールで、二人一組でバスタオルの両端を持ち、それでボールを投げ合う南区発祥の競技です。

ペアの息が合わないとうまく投げられず、キャッチもできません。それでも2～3回練習するうちに相手チームとのラリーが続くようになりました。(写真)

「ドッヂビー」にはたくさんの子どもたちが参加してくれました。

ボールの代わりにソフトディスクを投げ合う競技で、ディスクが2枚入れられ、試合はめまぐるしく展開しました。

ニュースポーツ大会の成績は左記のとおりです。

《カローリング》
優　勝　戸切町
準優勝　藤ヶ丘
第三位　橋本町
《ペタンク》
優　勝　野方南1区
準優勝　橋本町
第三位　橋本ニュータウン

みんなが笑顔でいられるために
－人尊協理事・運営委員会－

いきみなみ人権尊重推進協議会は、2月23日壱岐南公民館で理事・運営委員会を開き、今年度の活動のまとめと基調講演を行いました。

今年度も4月の総会から始まって、運営委員研修、町別人権研修会のための事前研修会、人権のつどい、大刀洗平和記念館訪問、各自治会での人権研修会、あすなろ解放学級との交流会……と、人権・同和問題の解決に向けて様々な活動に取り組みました。その参加者は延べ915人にも上ります。

【町別人権研修会】

仁田坂喬一・町別人権研修部長から全体的な報告があった後、自治会の人権啓発推進委員から一言ずつ、感想や気づいたことを発表しました。

参加者については、役員や組長のみの参加に留まっている自治会、対象者に名前入りで案内状を渡した自治会などそれぞれです。しかし毎年1回、人権・同和問題の解決に向けてみんなで集まって顔を見ながら膝をつき合わせて話し合うことの大切さは、皆さんの共通認識となっています。

感想の中では「違いを認め合い、相手を理解しようとすることが大事」「障がいを持った人の生きづらさや痛みを、家族だけでなく地域ぐるみで分かち合おう」「ご近所とうまく関われず孤立する高齢者も多い。まわりの人たちからの声かけやあいさつが必要」「後の日程がつまっていて、せっかくの話が最後まで聞けず残念だった」など参加者からの素直な気持ちが綴られていました。

【基調講演】

基調講演は金印亭恵紅さん、本名鎮守恵子さんで、福岡が誇る女流講談師・神田紅さんが主宰する福岡紅塾の門下生です。

紅さんは17年前から志賀島で発掘された金印の話を小学校で語り、金印のレプリカを贈呈しています。そんな紅さんの話をひとしきりされたあと「ことばで伝える日本の心」と題して「ことばは時代とともに変化していくものだから、今聞き慣れないことばも、そのうち定着してくるかもしれない。しかし、失いたくないことばや言い回しは、守っていきたい。ことばは時に人を傷付けるが、生きる力にもなる。日本の心をことばで伝えるとは、日本古来の話芸ではないでしょうか」と話されました。

この後、道路拡張のため切り倒されるところだった桜並木が一人の勇気ある市民と当時の市長、故・進藤一馬さんの短歌のやりとりで残されたという実話を基にしてつくられた講談『桧原桜』を読み切っていただきました。

2015年度年度　町別人権研修会実施状況一覧

日時	自治会	内容
10月20日	萩ヶ丘	オカリナ演奏と講話
11月2日	野方南1区	秋桜の咲く日（DVD）鑑賞
11月4日	野方団地	介護に関する諸問題
11月14日	野方南3区	秋桜の咲く日（DVD）鑑賞
11月14日	野方南4区	秋桜の咲く日（DVD）鑑賞
11月20日	橋本町	高齢者を取りまく状況
11月21日	藤ヶ丘	秋桜の咲く日（DVD）鑑賞
11月21日	壱岐団地南	オカリナ演奏と講話
11月28日	野方台団地	君が僕の息子について教えてくれたこと
11月28日	野方南2区	秋桜の咲く日（DVD）鑑賞
11月29日	野方南台	秋桜の咲く日（DVD）鑑賞
12月4日	戸切町	秋桜の咲く日（DVD）鑑賞
12月5日	橋本ニュータウン	秋桜の咲く日（DVD）鑑賞

◆記念誌完成～野方台40周年～

野方台団地では、2016年には団地が誕生してから40年となることを記念して、一昨年から記念誌づくりに取りかかっていました。

このほど足かけ3年の月日を重ねて「野方台団地40年のあゆみ」ができ上がりました。(＝写真)

団地ができるまでの歩みや、自治会結成、活動の様子などが詳しく紹介されている、全200ページという大作です。

これからの野方台団地を背負っていく若い世代のまちづくりへの手がかりになるに違いありません。

特別養護老人ホーム見学会

橋本レインボークラブでは、このほど早良区有田7丁目の要介護3以上限定の『特別養護老人ホーム　ラ・ポール有田』の施設見学会を行いました。

昨年3月に開設したばかりで、とてもスマートな3階建てのユニット型介護老人福祉施設です。定員は100人で10人分の個室とキッチン、リビング、浴室等の共有部分を一つの生活単位（＝ユニット）として、自宅での生活に近い暮らし方ができるようにしてあります。

職員は24時間体制で、笑顔・迅速・安全をモットーに運営されているそうです。

会員は、入居者と同じ昼食をおいしくいただき、自分の〝老後〟を思い浮かべながら熱心に見学していました。

（通信員　岡村哲彦）

往還往来

自治会だよりに「卒業おめでとう」と題して、今春卒業する小中学生の名前が出ていた。全部で14人。何と、一人を除いて全員男子だ。漢字だけでは男女の区別がつきにくいが、そこは「くん」「さん」で分けてあった▼知った子の名前を見つけて、あら～ぁ、もう4月から高校生か。あらあら、ここは同時に進学だと、よそ様の家庭の事情をちょっとのぞき見する。転入・転出情報もしかり。B4判のおたよりの中には情報がいっぱいつまっている▼少しでもご近所の様子を伝え会い、同じ団地で仲良く暮らしていきましょう。困ったときはいつでも自治会にご相談ください、という役員さんたちの姿勢が紙面から伝わってくる▼自治会なんて面倒だ、子ども会なんていらないと言う声を耳にすることがあるが、あって当たり前。無くなってはじめて「困った」とならないようにしたい。

（T）

これからの主な行事

○3月18日(金)
壱岐南小学校卒業式
○3月20日(日)
春の地域ぐるみ清掃
各自治会

自治会総会
総会に出席しましょう！
○3月27日(日)
藤ヶ丘・萩ヶ丘
○4月3日(日)
野方南2区・野方南4区
橋本町

あおぞら 社協ニュース No.123

自宅で最後まで生きられる地域に

第2回理事会開催

2月23日、壱岐南校区社会福祉協議会は今年度第2回目の理事会を壱岐南公民館で開催しました。

内容は平成27年度事業の経過報告と、28年度の取組についてでした。詳しい内容はつぎのとおりです。

【平成28年度事業について】

①地域包括ケアシステムの学習に継続的に取り組みます

介護保険法の改正により、今後は介護を必要とする方のなかでも比較的軽度の方は、施設ではなく住みなれた自宅で暮らしてもらうようにしようとするものです。

そのためには、医療機関や福祉関係事業者を含む、地域全体で支え合う体制を作り上げる必要があります。

校区社協として、校区の諸団体機関との連携をさらに進めるなど、新しい地域支援のあり方への早急な対応に取り組みます。

②ふれあい配食事業

年々対象者が増加していますが、対象年齢は今年度と同じく76歳以上とします。

回数については年間3回をそれぞれ3ブロックに分けて、計9回実施する計画です。

③その他の事業

27年度事業を基本に、計画実施します。

以上の内容については、提案どおりに承認されました。

無縁社会といわれる今日、その究極の課題である「孤独死」を防ぎ、「おひとりさま」になっても暮らし続けられる地域にするためには、お互いに支え合う地域づくりがこれからの切実なテーマとなってきます。

●第2回ふれあい配食●

平成27年度第3回目のふれあい配食を2月1日・8日・15日の3回に分けて行いました。

献立はコーンご飯、メンチカツ、大根ほか野菜の煮物、ほうれん草と人参のあえ物。卵焼き、ジュース寒天と彩りよく出来上がりました。

コーンご飯は、モチモチしておいしかったそうです。メンチカツは豚肉と鳥肉のミンチに炒めたタマネギ、キャベツのみじん切りをよく混ぜ、塩・砂糖・片栗粉・卵とソースで味付けをしました。

対象者の方から「いつも丁寧に作っていただき、おいしくいただいています」と、お礼の言葉がありました。

手際よくもりつけていきます。

第1グループ

自治会名	弁当数
野方南台	39
野方台団地	
野方団地	44
野方南1区	26
橋本町	10
小計	119

第2グループ

自治会名	弁当数
野方南2区	22
野方南3区	18
野方南4区	10
萩ヶ丘	58
藤ヶ丘	32
小計	140

第3グループ

自治会名	弁当数
戸切町	43
壱岐団地南	88
橋本ニュータウン	15
小計	146

◎ふら～っとカフェ一周年

昨年2月から始めた〝ふら～っとカフェ壱岐南〟が1周年を迎えました。この間延べ1537人の参加者を数え、利用者・ボランティアともに楽しい集いを続けてきました。

2月7日に開催したカフェは「同窓会」と銘打って、記念撮影や皆勤賞の方の表彰などを行いました。

福岡市では62カ所で地域カフェが開かれているそうです。そのなかでも、壱岐南ではかなりユニークな運営がされている、ということで2月21日の西日本新聞に大きく取り上げられました。（＝写真上）

カフェは、毎月1回、原則として第1日曜日に開きます。毎回チラシを配布していますので、ご覧いただき、ぜひご参加下さい。送迎もあります。

これからも、皆さんと楽しい集いがもてるよう取り組んでいきます。

地域包括ケアシステムとは

前号まで、①高齢者の在宅生活を支援することが「地域包括ケアシステムの根幹である②その支援にあたっては「個別ケア会議」「地域ケア会議」の開催が必要で、さらに、ケア会議の内容の守秘義務が発生する、ことを説明してきました。

今号では「ボランティア」について説明します。

《ボランティア》

高齢者の在宅生活を支えるには、多くの関係者が関わることになります。その人たちは対象者(高齢者)のすぐそばにいるとは限りません。又、特に親しいわけでもありません。

お世話になる高齢者の気持ちをほぐして、コミュニケーションを強くするには、どうしても気心の知れたご近所の方々などの「ボランティア」に頼らざるを得ません。

「ボランティア」というと、すごくハードルが高そうなイメージがありますが、ご近所づきあいもある意味ではボランティア活動です。ご自分やご家族が、ご近所の方やいろんな方にお世話になっていると思いますが、そのお世話に対してお返しをする気持ちを持つことがボランティアの思想です。

どんなにすばらしい能力を持っている人でも、自分一人で生きていくことはできません。必ず誰かのお世話になっています。今、認知症になっている高齢者も、昔はあなたのことをかわいがってくれたことを思い出してください。

地域包括ケアシステムというと大変むずかしく聞こえますが、昔、活躍して社会を支えてくれた人、みんなのお世話をしてくれた人、かわいがってくれた人……。そのようにあなた方をサポートしてくれた人たちに、今度は私たちがお返しすることなのです。

「個別ケア会議」や「地域ケア会議」に参加しなくても、あなたには役割があることを知って、行動に移してください。

4回に分けて『包括ケアシステムとは?』を掲載してきましたが、実は中身はすごくシンプルです。

平均寿命が大きく伸びたことで、以前は気づかなかった高齢者特有の病気や症状が現れ、医療や介護の専門職も増えてきました。そのため、専門職と地域の連携の仕組みを作らなければならなくなりました。

それぞれの立場の人たちがそれぞれに任務を全うできるようみんなで協力していきましょう。(完)

※船橋市包括支援課作成「実効ある地域ケア会議とするために」を参考にしています。

★事務局員募集★

社会福祉協議会には大きな悩みがあります。それは、組織の高齢化、事務局員の減少です。

事業内容を充実させるためにも、事務局体制を安定させなければなりません。

地域の社会福祉活動に興味のある方、ぜひご連絡下さい。

《連絡先＝新里》
080-2709-0837

◆いきみなみ文壇◆

春炬燵メモ取る妻のずり眼鏡
我と来て語る友なし老いの春

（橋本ニュータウン　福田　萬三）

＊賛助会員募集＊

社会福祉協議会は、高齢者も若者も、子どもも障がいをもっている人も、みんな快適に暮らせる「あたたかいまち」を皆さんと作っていきたいと考えています。

活動資金の一助となる「賛助会費」を募集しています。

会費は一口千円です。

会費のうち、50%が校区社協の福祉事業費として、50%を西区社協の地域福祉事業費として活用します。

趣旨に賛同される方は、公民館窓口で申し込んでください。

西区社会福祉協議会 賛助会員加入のお礼

（H28年1月5日～H28年2月20日）

（敬称略・受付順）

個人

杉岡　佳久・黒岩千富子
執行　鶴子・花田　信子
宮崎　嘉子・宮崎
後藤　貞夫・山本
川下　千里・上村
川本　進・浪口
徳島　雄・徳島
淀　晴・淀
渡邉　友香里・藤
淀　孝子・山口
徳島　幸子・田
川本　洋子・美
川下　佐子・
後藤　真次・
宮崎　泉
執行　梢
杉岡　静子

ありがとうございました。

子どものひろば

子どもリーダーを通して

私は、はじめ子どもリーダーをする気がなかったけど、友達と一緒にすることにしました。

一番思い出に残ったのは夜須高原の一泊研修です。ジュニアリーダーや他校のお友達と知り会えて良い経験になり楽しかったです。なかなか活動には参加できませんでしたが たくさんの方の協力で1つの行事が成功でき本当に感謝しています。一年間ありがとうございました!!

野方南3区　高岩　愛奈

編集後記

春3月。毎年全国各地で別れの儀式が行われ、ひと月もたたないうちに、出会いの儀式が待っています。

毎日の生活が特段変わるわけではないけれど「式」をすませると、不思議なことに一つのことが終わった、あるいはこれから何かはじまる、とう気持ちになりませんか。

自治協議会も設立から12年が過ぎ、干支が一回りしたことになります。13年目の新しい年度を迎える、それぞれの準備はお済みでしょうか。

新年度からは新しい組織「文化振興会」が本格始動します、文化の面から住みよいまちづくりに貢献してくれることでしょう。